

おもな内容

- 3 特集 荒尾を盛り上げたい!
みんなのチカラで荒尾を元気に!
- 8 まちの話題
- 10 荒尾市公式LINE
- 12 あらおレシピコンテスト
- 13 18歳から大人に!
成年年齢引き下げ
- 14 保健・健康
- 16 わたしたちの学校自慢
- 17 ハイ! スクール通信
市制施行80周年記念
オリジナルフレーム切手
- 18 子育てに関するお知らせ
- 20 荒尾市男女共同参画フォーラム
- 21 初めてのHAPPY BIRTHDAY
- 22 スポーツクラブメンバー募集
- 24 暮らしの情報 PICK UP
- 26 暮らしの情報
- 31 アスベスト対策
- 32 うまか〜レシピ
人権のいろいろ
それいけ 地域おこし協力隊!
- 33 図書館へ行こう!
荒尾総合文化センター情報
- 34 あらおカレンダー
- 35 平日夜間・休日当番医
- 36 休日開庁のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今月号に掲載している情報に変更が生じる場合もあります。イベントや行事への参加などをはじめ、掲載情報をご利用になる場合は最新の情報を改めて確認することをおすすめします。

人の動き 1月末現在 (外国人住民を含む)

人口 50,879人 (-88)

男性 24,089人 (-40)
女性 26,790人 (-48)
世帯数 24,004世帯 (-40)
※()内は前月比の増減

今月の税

国民健康保険税10期

納期限
3月31日(木)

- 納期限内に納めましょう。
- 口座振替の人は口座残高をご確認ください。
- 使用期限内の納付書は、市民サービスセンター・コンビニエンスストア・スマートフォンアプリでもお支払いいただけます。

問 収納課 ☎ 63-1353 ☎ 63-1362

お忘れなく!

題字を書きました!

6歳の時にお兄ちゃんと一緒に習字を始めて、選ばれたときは友達や親戚もみんな喜んでくれました。今はお父さんにバスケットボールを教わっていて、将来はバスケット選手になりたいです。これからスイミングも習いたいと思っています。学年が上がっても水泳の授業があるので、今から練習して上手になりたいです。



中央小 3年
ひがしりく
東 莉久さん

様々な方法で広報紙がチェックできます //

声の広報 文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙
問 福祉課 福祉係 ☎ 63-1406

マチイロ マチを好きになるアプリ
アプリをダウンロードすると、いつでも・どこでも・簡単に広報紙が閲覧できます。

荒尾市公式LINE

新型コロナウイルス感染症に関する情報や災害・防災などの緊急情報をお届けします。友だち登録はこちらから▶



荒尾を盛り上げたい!
みんなのチカラで
荒尾を元気に!

人と人がつながり 地域を盛り上げる

かつて、近代産業の発展を支えた炭鉱のまちとして賑わいを見せていた荒尾市。全国的に人口流出が問題となるなか、本市も例外ではありませぬ。最盛期(昭和30年)には約67500人いた人口も全国的な出生率の低下もあって現在は約51000人に。人口流出を食い止めようと、市では「あらお海陽スマートタウン」などハード面でのまちづくりも進んでいます。しかし、やはりまちづくりに欠かせないのは「人」ではないでしょうか。人がつながり、地域を活性化に導いていく。今回は、荒尾を元気にしようという仲間と一緒に力を合わせて活動している皆さんに話を伺いました。

荒尾を楽しいところに!

活気あるまちに!

みんなでチカラを合わせよう!



密にならない広い敷地で開催!



みんなの笑顔がやりにつながる

コロナ禍で密になるのを避け「屋外」という少しの安心感と、多くのキッチンカーが集っても密に感じない広い敷地で開催しています。

など、集まるキッチンカーや出店数は毎週さまざま。吉丸さんは、20代後半からの趣味であるコーヒーのキッチンカーを出店しています。キッチンカーを作り始めたころから自分が出店するならコーヒー店にしようと思ったそうです。お菓子やパン作りの経験もあり、スコーンを販売したところ好評に。普段の仕事後に仕込みをする手作りスコーンはファンも多くいるようで「土曜の午前中に来ないと買えないんですよ」と来場者が人気の様子を教えてくださいました。お店が集まる屋外の広場で販売は季節や天気も影響するため試行錯誤の連続です。「夏は水場を作って子どもたちが涼しく遊べるエリアを作ろうかなと考案中です。とにかくお客さんに楽しんでほしいので、飲食や雑貨・癒しスペースなど今週はどんなお店が集まっているかな？」とワクワク



みんなが楽しめる場所を作りたい
自分たちの手で作り上げた、笑顔が集まるプラスの場

友人からの依頼がきっかけで始めたキッチンカー



八幡小学校前交差点近くのコンビニ跡地でキッチンカーなどが集まり、フードや雑貨を販売する「+B a」は昨年10月にオープンしました。普段、自動車整備や農機具の修理、フルオーダーのキッチンカー販売をしている吉丸健児さんが代表を務め、来場者に「プラスの価値を提供するための場所」にしたいとオープンしました。「友人からキッチンカーを作れないかと頼まれ、いろいろ調べていくうちに自分もハマっちゃいました」と吉丸さん。以前は、整備工場内の一角をキッチンカーでの販売スペースにしていたのですが、安全

してもらえない空間を作っています。みんなの笑顔が集まる場所づくりに奮闘する吉丸さん。「にぎやか過ぎず、田舎すぎない。住むのにちょうどいい荒尾が好きです。素敵な場所や魅力的な人がたくさんいる荒尾をみんなにもっと知ってもらいたい」と、今後は出店だけでなく、イベントや行事にも場所を提供したいと考えています。「コロナ禍ですが、密を避けて楽しんでもらえるように工夫しています。週末はぜひ、+B aに遊びに来てください」と吉丸さんは笑顔で話します。

たくさんのお店が出店しています



地域住民の週末の憩いの場に + B aは主に土日祝日に開き、ピザ・クレープ・たこ焼きを考えて現在の場所へ移り + B aとして新たなスタートを切りました。できることは自分たちでしようと、イートインスペースのテーブルや椅子・看板・ペンダントライト、他にもたくさんものを仲間と手作りして、人が集える素敵な空間を作り上げました。



+ B a 代表 吉丸健児さん

こんなこともやっています

1 整備工場で廃棄予定のプロパンガスボンベを溶接して作った薪ストーブ。

2 ドラム缶から作ったおしゃれな椅子。どれも手作りばかり。